

ディスクロージャー誌2010

(皆様のための情報公開誌 平成21年度版)

J A 延岡のご案内



ディスクロージャー誌目次(1 / 4)

【単 体】

1. ごあいさつ	P3
2. 沿革・あゆみ	P4
3. トピックス	P7
4. 事業のご案内	P8
5. 経営方針	P16
6. 業務運営	P18
(1) リスク管理体制について	
(2) コンプライアンス(法令等遵守)の態勢	
7. 系統セーフティネット	P19
8. 農業振興活動	P20
9. 社会的責任と貢献活動	P22



JA事業運営につきましては、平素より深いご理解とご協力、ご指導を賜りまして、心より厚く感謝とお礼を申し上げます。

さて、平成21年度を振り返ってみますと、農業を取り巻く環境は、農業労働力の減少、高齢化、農畜産物の価格低迷など厳しい状況にありました。農業政策でも、食料・農業・農村基本計画の見直し、農地法の改正があり、さらに政権交代に伴い個別所得補償方式が導入されようとするなど、日本の農業は大転換期を迎えます。JAグループとして、組織、関係機関をあげて国、県、市への支援要請活動を積極的に行ってまいります。

このような状況のなか、新規に延岡酪農組合より事業の一部譲渡を受け酪農の販売・指導事業を開始、県内養鶏事業の体制維持のため種鶏第5団地事業を農家から引き継ぎ運営しました。また、繁殖牛農家の高齢化対策として延岡市の協力を得てキャトルステーション実証展示事業を開始しました。また畜産センター・支援センターでは昨年度から引き続いて研修生を受け入れ、意欲ある担い手の確保・育成に努めました。

平成22年度は、産直施設「ふるさと市場」および(株)プリエールの「いがた斎場」がオープンいたします。地産地消事業の一層の充実と、組合員の皆さまの利便性の向上に努めてまいります。

また、宮崎県JA大会で決議された「所得アップ GO!GO!テン運動」は、組合員とJAグループ宮崎が協同の力を発揮し、農業所得の10%アップを目指すもので、向こう3年間、県下で統一して取り組んでまいります。

こうしたなか、先般、宮崎県内で口蹄疫が発生し、被害が拡大しております。特に、畜産農家の方々のご苦勞、ご心勞は想像を超えるものがあり、口蹄疫被害の早期解決を切に願っております。JA延岡においても、被害拡大防止のため、関係機関と連携して支援に取り組んでいるところであります。

平成22年度は、延岡農協合併20周年を迎えます。この節目の年にもう一度「協同組合の原点」に立ち返し、JA延岡の運営に取り組んでまいります。

本年度も、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます、ご挨拶といたします。

平成22年5月
延岡農業協同組合
代表理事組合長 白坂 幸則

平成	2	年	4	月	延岡農業協同組合発足（延岡市農協と延岡農協が合併）
平成	3	年	4	月	参与制の導入、旅行センター営業開始
			6	月	オートパル（自動車整備工場）落成
			11	月	食のウィーク開催
平成	4	年	9	月	農休日の提唱
			10	月	共済4,000億保有達成
			12	月	年末貯金711億達成
平成	5	年	3	月	役員改選、第3畜産センター落成（平成2年12月起工）
			3	月	東延岡支店落成
			11	月	第1回農業まつりの開催
			12	月	あたご出張所落成
平成	6	年	6	月	水田コメニケーション実行
			9	月	東海給油所落成
平成	7	年	7	月	松山給油所落成
			10	月	JA明屋書店一ヶ岡店落成
			11	月	第2回農業まつりの開催
平成	8	年	3	月	葬祭会館プリエール延岡営業開始
			3	月	役員改選
			5	月	金融次期システム本稼動
			10	月	グリーンアメニティ浜の輪分譲地造成完了
			12	月	仕出しセンター完成
平成	9	年	1	月	育苗センター落成
			2	月	北方支店落成
			3	月	特別養護老人ホーム「ふれあいの里」落成
			9	月	行滕川ライスセンター落成
平成	10	年	4	月	哺育センター、種豚センター落成
			8	月	グリーンワンしおはま・ひらた開店
			11	月	第3回農業まつりの開催
			11	月	グリーンワンおおかど開店
平成	11	年	1	月	「空飛ぶ新玉ネギ」初出荷
			3	月	役員改選
			6	月	JA延岡地域営農振興審議会発足
			10	月	和牛生産増頭に関する協議会発足
平成	12	年	3	月	口蹄疫対策会議
			3	月	第1回異業種交流会
			5	月	Aコープ一ヶ岡店新装グランドオープン
			5	月	郵便局とのオンライン提携
			8	月	嘱託ブランド普及員（たくみ制度）認定式
			9	月	片田ライスセンター落成
			11	月	第4回農業まつりの開催
			12	月	鉄工団地SS新装オープン
			12	月	JA延岡ホームページ開設
平成	13	年	12	月	延岡地域農林業関係団体連絡協議会発足
			2	月	JA延岡合併10周年記念式典
			2	月	故佐藤改司翁顕彰像除幕式
			3	月	第1回准組合員代表者会
			3	月	新規就農円滑化モデル事業北方牛舎落成
			4	月	「日曜日ふれあいなんでも相談」開始
			4	月	「ふれあい弁当」宅配スタート
			7	月	「太陽の野菜ジュース」販売開始
			9	月	第一次産業会発足（FAM）
			10	月	BSE（牛海綿状脳症）対策会議
			12	月	プリエール延岡おおたけ斎場落成
平成	14	年	2	月	（有）延岡農協畜産センター設立
			4	月	役員改選（参事制廃止、常務および常勤監事設置）
			4	月	一部ペイオフ解禁
			4	月	新規就農円滑化モデル事業北浦牛舎落成



平成 14 年	4 月	農林年金・厚生年金と統合
	6 月	「空飛ぶ新玉ネギ」ゆうパック取扱い表彰（総務大臣）
	8 月	「空飛ぶ新玉ネギ」ソングCD製作
平成 15 年	10 月	（株）エコーブみやざき新会社スタート
	11 月	第5回農業まつりの開催の開催
	4 月	「空飛ぶ玉ネギドレッシング」発売
	5 月	自動車共済事故処理優秀組合で表彰
	7 月	J A 延岡養豚部会発足
	8 月	Aコープ三須店閉店
	10 月	東九州交流拠点都市産業祭
平成 16 年	11 月	延岡城築城400周年記念行列参加
	12 月	牛トレーサビリティ法施行
	12 月	J A 延岡ホームページアクセス5万件突破
	1 月	家の光協会会長賞・J A 宮崎中央会会長賞受賞（J A 延岡女性部）
	2 月	延岡市水田農業推進協議会発足
	4 月	「緑化功労賞」を受賞（南方たけのこ生産組合）
	6 月	オレオレ詐欺防止で表彰（川島出張所）
	10 月	台風災害の農作業支援（営農支援隊）
	10 月	北川台風災害の復旧ボランティア活動（64人）
	11 月	家畜排泄物法本格的適用
	11 月	ふれあい渉外スタート（三川内）
	11 月	第6回農業まつりの開催
平成 17 年	12 月	ふれあい渉外スタート（方財）
	12 月	共栄会発足（経済事業）
	1 月	宮日賞を受賞（玉ネギ部会）
	1 月	三川内事業所・方財事業所閉鎖
	2 月	振り込め詐欺防止で表彰（恒富支店）
	4 月	ペイオフ全面解禁
	4 月	振り込め詐欺防止で表彰（岡富支店）
	4 月	役員改選
	5 月	ふれあい渉外スタート（三須）
	6 月	ふれあい渉外スタート（細見）
	8 月	三須出張所閉鎖
	8 月	新「あたご支店」営業開始
	9 月	台風災害の復旧ボランティア（北方町・古川町）
	10 月	「天下一蔵出し米」発売
	10 月	細見出張所閉鎖
	10 月	「平田支店」営業開始
	10 月	手作り看板最優秀賞（青壮年部）
平成 18 年	11 月	台風災害義援金贈呈（延岡市・北川町・北方町）
	11 月	コンビニATM利用開始
	12 月	「プリエールのた」建設起工式
	12 月	農林産物直販店「むかばきの郷」オープン
	1 月	宮日賞を受賞（北川町和牛改良組合）
	5 月	「プリエールのた」オープン
	6 月	J A 延岡「天下一茶」を新発売
	7 月	ふれあい渉外スタート（曾木）
	7 月	ふれあい渉外スタート（伊形）
	7 月	青色防犯パトカーを寄贈（延岡市・北川町）
	8 月	（株）J A 延岡地域農業振興支援センター設立
	8 月	（有）畜産センター牛が優勝（県下J A 枝肉共励会）
	8 月	新・延岡和牛部会の発足
平成 19 年	9 月	北方支店・曾木出張所の統合
	10 月	竜巻被害の水田に営農支援隊が復旧作業支援
	10 月	竜巻被害に義援金贈呈（延岡市）
	10 月	新・伊形支店 オープン
	11 月	第7回農業まつりの開催
	1 月	グリーンワンおおかど店内に「旬菜市场」オープン
	3 月	桜ヶ丘出張所・川島出張所閉店
	3 月	新店舗「東海支店」営業開始



平成 19 年	3 月	「農林水産大臣賞」「知事賞」「県経済連代表理事会長賞」3賞受賞（JA延岡玉ネギ部会）
	3 月	JA延岡女性部地産地消「地のもん」料理発表会
	3 月	空飛ぶ新玉ネギこんにゃく・スープ試食発表会
	4 月	「延岡地域水田農業推進協議会」設立総会
	4 月	宮崎北部自動車損害調査サービスセンター開設
	4 月	玉ネギフェア開催
	5 月	延岡市役所東海支所業務開始（新東海支店内）
	6 月	「第109回和牛枝肉共進会」にて宮田藤夫さん(三須町)出品牛がグランドチャンピオン
	6 月	焼酎醸造用かんしょ植え付け
	7 月	自動車共済事故処理優秀組合全国表彰
	8 月	台風5号災害の復旧ボランティア
	10 月	地産地消一校一農運動調印式
平成 20 年	12 月	地産地消・延岡産・芋焼酎「亮天」 北方産・栗焼酎「三代の松」発売開始
	12 月	中央給油所閉店
	1 月	旧東海支店解体式典
	4 月	(有)延岡農協畜産センター-育成センター-落成式
	5 月	乾しいたけで北方町がみやざきブランド産地指定
	7 月	全国酪農青年女性発表大会で矢北さんが最優秀賞
平成 21 年	11 月	第8回農業まつりの開催
	12 月	振り込め詐欺防止で表彰（東海支店）
	1 月	旧伊形支店解体神事
	3 月	JA延岡が「消防団協力事務所」に認定
	4 月	種鶏第5団地事業開始
	4 月	北川牛舎落成式
	5 月	集落営農組織「うつぎファーム」設立
	8 月	キャトル実証展示事業開始
	8 月	延岡酪農組合解散による酪農事業譲渡契約調印式
	12 月	伊形朝市グループ創立35周年記念朝市



営農・経済面におきましては、原油・飼料の高騰、農畜産物の価格低迷により、農業経営は大変厳しい状況でした。ＪＡグループでは市、県、国へ支援の要請活動を行いました。

その他では、農商工連携により地域の活性化と土地利用型農業の振興に努めました。また、地産地消運動に組織をあげて取組み、農林産物直売店の取扱拡大、地元産食材の料理講習会の開催、県主催の楠並木市や今山大師祭への参加などを通して地元特産物のＰＲを行いました。食料自給率向上の取組として、かんしょの契約栽培や麦栽培の拡大を図りました。

金融・共済面におきましては、組合員サービス充実のため日曜ローン相談会の開催、懸賞付定期貯金キャンペーンの実施、個人向け国債や投資信託の取扱い、「ひと・いえ・くるま」の総合保障であるＪＡ共済のＰＲと契約者への訪問活動、自動車事故の対応強化のためＪＡ共済連県北部サービスセンターとの連携など、契約者への対応を積極的に行いました。

経営管理につきましては、延岡酪農組合の解散に伴い、生乳販売および酪農指導の事業を譲り受けました。また、市と連携し子牛の受託施設の実証展示検討を行うキャトル実証展示事業、種鶏事業と中ビナセンター事業の一環体制および県内プロイラー事業の体制維持のため種鶏第５団地事業を開始しました。

その他、宮崎県ＪＡ大会において、向こう３年間の県下統一の取組みとして、組合員の農業所得１０％アップを目指す「所得アップＧＯ！ＧＯ！テン運動」が決議されました。



常勤役員による農家巡回



小学生による玉ネギの植付け



麦ふみ大会



女性部の料理教室

4 事業案内

信用事業

信用事業は、貯金、融資、為替等いわゆる銀行業務といわれる内容の業務を行なっています。
この信用事業は、JA（農協）・JA宮崎信連・農林中央金庫という三段階の組織が有機的に結びつき、JAグループ（農協系統）金融として大きな力を発揮しています。

貯金業務

組合員はもちろん地域住民の皆さまや事業主の皆さまからの貯金をお預かりしています。
普通貯金、当座貯金、大口定期、スーパー定期、定期積金、総合口座等の各種貯金を目的・期間・金額にあわせてご利用いただいております。

【主な貯金商品】

種類	特徴	貯金保護について
当座貯金	手形、小切手でのお支払いができる貯金です。	全額保護
決済用貯金	総合口座貯金の普通貯金や普通貯金口座を無利息型にした貯金です。	
総合口座貯金	成年で個人の方のみご利用できます。普通貯金と定期貯金が1冊にセットされた貯金で、定期貯金の90%（最高300万円）まで貸越（自動融資）が可能です。	JA延岡の貯金総額（お一人様）元本1,000万円とその利息が保護されます。
普通貯金	家計簿がわりの出し入れ自由の貯金です。法人や個人の方で口座が複数必要な場合にご利用ください。	
貯蓄貯金	残高階層別に金利を設定している貯金です。基準日残高が多いほど金利が有利になります。	
通知貯金	短期間の資金運用に適した貯金です。	
期日指定定期貯金	個人のみ、1年複利・最長3年の定期貯金です。預入日から、1年を経過すると1万円単位で払出しが可能です。	
スーパー定期貯金	自由金利の定期貯金で、個人の方で3年以上の預け入れの場合、半年複利がご利用になれます。	
大口定期貯金	大口の資金運用に適した自由金利商品です。	
変動金利定期貯金	金利が半年ごとに変動する定期貯金です。	
定期積金	毎月、一定額を積み立てる貯金です。期間は6ヶ月以上の最長5年です。	
積立定期貯金（エンドレス）	預入金額ごとに期日指定定期貯金としてお預かりします。複数の定期貯金を1冊の通帳に管理できます。	
譲渡性貯金（NCD）	短期間の大口資金運用に適しており、預入期間中に譲渡ができる貯金です。	対象外

上記については主な内容のみです。詳しくは最寄りの支店・出張所窓口にてお尋ね下さい。
その他ご利用に応じた貯金商品を取り揃えております。中途解約条件や金利、最低預入単位等の詳しい内容につきましては、窓口にお尋ねください。
当座貯金及び決済用貯金は無利息となります。
貯金保護は、「貯金保険制度」により保護される額です。
大口とは1,000万円以上を意味します。

為替業務

全国のＪＡ（農協）・ＪＡ宮崎信連・農林中央金庫の店舗をはじめ、全国の銀行や信用金庫等の各店舗と為替網で結び、当組合の窓口を通して全国のどこの金融機関へでも送金や手形・小切手等の取り立てが安全・確実・迅速にできる内国為替をお取扱いしています。

国債窓口販売業務

国が責任をもって発行する債券です。国債、個人向け国債を取り扱っております。

投資信託窓口販売業務

投資対象により17種類のファンドをラインナップしております。

サービス・その他

当組合では、コンピューター・オンラインシステムを利用して、各種自動受取り、各種自動支払いや事業主の皆さまのための給与振込サービス、自動集金サービス、口座振替サービス等をお取扱いしています。

また、国債の保護預り、全国のＪＡ（農協）での貯金の出し入れやゆうちょ銀行、セブン銀行等の銀行、信用金庫等でも現金引き出しのできるキャッシュサービス等、いろいろなサービスに努めています。

【主な業務・サービス内容】

キャッシュサービス
年金振込み・給与振込み
各種自動支払いサービス（公共料金・電気・ガス・水道・NHK受信料など）
ＪＡネット・バンク

<http://www.jabank.jp/>

（但し、あらかじめ所定用紙にての申込みが必要です。最寄りの支店・出張所窓口へお尋ね下さい。）

手数料一覧

平成22年1月現在

単位:円(消費税込み)

種 類	取扱種別		手数料単位	同一店内	当組合本支店あて	系統あて	他行あて
振込手数料	窓口扱	電信扱	3万円未満 1件につき	105	210	210	630
			3万円以上 1件につき	315	420	420	840
		文書扱	3万円未満 1件につき	-	210	210	630
			3万円以上 1件につき	-	420	420	840
	MT・FD等扱い	3万円未満 1件につき		105	105	105	420
		3万円以上 1件につき		210	315	315	630
	ATM利用 による振込	3万円未満 1件につき		52	52	105	315
		3万円以上 1件につき		105	105	315	472
	定時自動送金	3万円未満 1件につき		52	52	105	315
		3万円以上 1件につき		52	105	315	472
	インターネット バンキング	3万円未満 1件につき		無 料	52	105	262
		3万円以上 1件につき		無 料	105	210	367

種 類	取扱種別		手数料単位	金 額	
代金取立手数料	延岡手形 交換所地域内	当日入金可能な手形・小切手	1通につき	無 料	
		取立依頼書等への記載が必要なもの	1通につき	210	
	個別取立			1通につき	840
	集中取立			1通につき	630
その他諸手数料	送金・振込組戻手数料		1件につき	630	
	不渡手形返却料(延岡手形交換所地域内を含む)		1通につき	630	
	取立手形組戻料(延岡手形交換所地域内を含む)		1通につき	630	
	取立手形店頭呈示料(但し、630円を超える取立経費を要する場合は、その実費をいただきます。)		1通につき	630	
	離島回金料				無 料
送金手数料	普通扱(送金小切手)		1件につき	630	

平成22年1月現在

単位:円(消費税込み)

取扱手数料項目			金額
項目	項目	単位	
残高証明書発行	継続発行(当組合制定用紙)	1通	210
	個別発行(当組合制定用紙)	1通	315
	当組合制定外用紙	1通	1,050
その他証明書発行	当組合制定外用紙	1通	525
再発行手数料	貯金通帳	1冊	525
	貯金証書	1通	525
	磁気キャッシュカード	1枚	525
	ICキャッシュカード	1枚	1,050
	JAカード(一体型)	1枚	630
	ローンカード	1枚	525
口座振替手数料	窓口帳票扱い	1件	210
	定時自動集金	1件	105
	MT・FD等扱い	1件	105
発行手数料	手形・小切手帳代	1冊	840
	自己宛小切手発行	1枚	525
	ICキャッシュカード(発行)	1枚	無料
	ICキャッシュカード(更新)	1枚	無料
履歴照会手数料	COMコピー	1枚	52
国債窓販手数料	保護預り手数料(月額)	1口座	無料

ATMのご利用手数料

平成22年1月現在

単位:円(消費税込み)

取引時間	取引種類	県内系統 (JFマリンバンク含)	県内系統 (JFマリンバンク含)	系統外				キャッシング
				セブン銀行	三菱東京UFJ	郵貯	その他	
平日								
6:00~8:45 三菱東京UFJ・郵貯・セブン銀行 の利用は8:00から	支払	0	0	105	105	105	210	105
	受入	0	0	105	-	105	-	-
8:45~18:00	支払	0	0	0	0	0	105	0
	受入	0	0	0	-	0	-	-
18:00~23:00 三菱東京UFJ・郵貯の利用は 21:00まで	支払	0	0	105	105	105	210	105
	受入	0	0	105	-	105	-	-
土曜日								
6:00~8:45	支払	0	0	105	-	-	210	105
	受入	0	0	105	-	-	-	-
8:45~14:00 三菱東京UFJ・郵貯・セブン銀行 の利用は9:00から	支払	0	0	0	105	105	105	105
	受入	0	0	0	-	105	-	-
14:00~23:00 三菱東京UFJ・郵貯の利用は 17:00まで	支払	0	0	105	105	105	210	105
	受入	0	0	105	-	105	-	-
日曜日・祝日・年末休日								
7:00~23:00 三菱東京UFJ・郵貯の利用は 9:00~17:00まで セブン銀行の利用は8:00~23:00まで	支払	0	0	105	105	105	210	105
	受入	0	0	105	105	105	-	-

融資業務

組合員の皆さまの農業振興を図るための農業関連資金のご融資をはじめ、地域金融機関の役割として地域住民の皆さまの暮らしや事業に必要な資金もご融資しています。

また、地方公共団体、農業関連産業などへもご融資し、地域経済の質的向上・発展に貢献しています。さらに、住宅金融支援機構、日本政策金融公庫等の融資の申込みのお取次ぎもしております。

【主な融資商品】

ご融資の種類		資金のお使いみち	融資期間	融資限度額
農業 資金	制度資金	農業経営に必要な施設設備、就農者の育成等の資金	資金毎に期間設定	資金毎に限度額設定
	J A 農機ハウスローン	農機具の購入・点検・修理、パイプハウス等の資材購入・建設費、農機具購入資金の他金融機関からの借換、格納庫建設資金など	1年～10年	1,000万円以内
	営農ローン	営農及び生活に必要な資金	1年毎に自動更新	100万円以内
	アグリマイティー資金	農業生産・担い手資金、農産物の加工・流通・販売資金、地域活性化・地域振興資金	原則として15年以内 (但し対象事業に応じ20年以内) 短期資金1年以内	個人3,000万円以内 個人以外の農業者等 5,000万円以内
住宅 資金	J A 住宅ローン	住宅新築資金 土地付住宅(中古物件を含む)の購入資金	3年～35年 (資金使途により制限有り)	10万円～5,000万円
	全国保証住宅ローン	マンション(中古物件を含む)の購入資金 土地(更地)の購入資金(住宅を新築予定の場合のみ)	35年以内 (資金使途により制限有り)	10万円～6,000万円
	J A バンクローン	住宅の増改築・改装・補修資金 他の金融機関の住宅資金の借換 借入に係る諸費用等	3年～35年 (資金使途により制限有り)	10万円～5,000万円
	J A リフォームローン	住宅の増改築・改装・補修及びその他住宅に付帯する施設等の住宅関連設備資金	1年～10年6ヶ月	10万円～500万円
生活 資金	J A マイカーローン	自動車・バイク購入資金(中古車含む)、免許取得費用、車検、修理、自動車共済掛金等自動車に関する資金、車庫建設資金	6ヶ月～7年	500万円以内 (1万円単位)
	オリコマイカーローン	自動車・バイク購入資金(中古車含む)、購入に付帯する諸費用、点検・修理、車検等に必要な資金、免許取得費用、カー用品の購入資金	6ヶ月～8年	10万円～500万円 (1万円単位)
	J A 教育ローン	就学子弟の入学金、授業料、学費及びアパート家賃等教育に関する費用	据置期間も含め 13年6ヶ月以内	500万円以内 (1万円単位)
	オリコ教育ローン	就学子弟の入学金、授業料、学費及びアパート家賃等教育に関する費用、他の金融機関の教育資金に関するローンの借換資金	据置期間も含め 10年以内	10万円～300万円 (1万円単位)
	J A クローバローン	家財購入資金、プライダル資金、旅行などの資金使途の確認ができる生活資金、住宅リフォーム資金 (負債整理資金・事業資金にはご利用できません。)	6ヶ月～5年	300万円以内 (1万円単位)
	J A カードローン	暮らしに必要な資金 (負債整理資金・事業資金にはご利用できません。)	1年毎に審査後更新	50万円以内 (1万円単位)
	スピードローン	暮らしに必要な資金 (負債整理資金・事業資金にはご利用できません。)	6ヶ月～5年	10万円～70万円 (1万円単位)
	フリーローンモア	暮らしに必要な資金 (事業資金にはご利用できません。)	7年以内	10万円～200万円 (1万円単位)

*上記については主な内容のみを記載しております。また、各商品ごとに利率、保証料、ご利用限度額など貸出の条件が異なりますので、詳しくは最寄の支店・出張所の窓口にお尋ね下さい。

*上記の融資商品以外にもご利用に応じた融資商品を取り揃えておりますので、お気軽にご相談ください。

【代理貸付商品】

代理貸付商品名	資金のお使いみち
日本政策金融公庫資金	農業者等への長期設備資金、長期運転資金
住宅金融支援機構(協住フラット35)	住宅の新築資金、マンション購入資金
日本政策金融公庫の教育資金	高校・短大・専門学校・大学等へ進学するために必要な資金

ローンの上手な利用方法

豊かな生活を送るためには、ローンを上手に利用することも必要です。それには、計画的に無理なく返済できる範囲内でローンをご利用いただくことが肝要です。返済計画は、生活を極端に切り詰めることなく、また病気など不慮の事故も考慮して、余裕のある計画を立てるようにしてください。

共済事業

基本方針

JA共済は、組合員・利用者および地域住民の皆さまの多様な保障ニーズに対応した仕組み・サービスを提供するとともに、3Q訪問プロジェクトを通じて組合員・利用者の皆さまとの「絆の強化と仲間づくり」を積極的にすすめ「安心」と「満足」を提供するための取り組みを行なっています。また、コンプライアンスを遵守し丁寧かつ誠実な普及活動を行ってまいります。

長期共済

【主な種類とその特徴】

種 類	特 長	加入年齢
終身共済	一生涯にわたって死亡・後遺障害を保障するもので、ご家族の生活資金や老後の万一の保障を確保できる共済です。	15～75歳
医療共済	入院・手術はもちろん、がんの治療や先進医療など、もしものときの幅広い医療リスクに一生備えることができます。	0～75歳
がん共済	一生涯にわたって悪性新生物または脳腫瘍に罹患した場合の保障を確保する共済です。	15～75歳
養老生命共済	一定期間の死亡・後遺障害を保障するもので、満期時には満期共済金が支払われ貯蓄性があります。	0～75歳
こども共済 (にじ・えがお)	お子様の万一の保障確保と入学時などにあわせて祝金を受け取ることができる共済です。	お子様加入年齢 0～12歳
年金共済	老後の資金に備えるための共済です。一生涯にわたる年金タイプと一定期間に受け取る年金タイプがあります。	18～65歳
建物更生共済	火災・自然災害等において建物家財を対象に保障する共済です。満期時には満期共済金が支払われ貯蓄性があります。	

上記については主な内容のみです。詳しくは最寄りの支店・出張所窓口にてお尋ね下さい。
 その他ご利用に応じた共済を取り揃えております。お気軽にご相談下さい。

短期共済

【主な種類とその特徴】

種 類	特 長
火災共済	火災等において建物・家財を対象に保障する共済です。掛捨てタイプの共済です。
自賠償共済	自賠償法によって加入が義務づけられている強制共済（保険）です。自動車に証明証書を備える必要があります。支払い対象は対人事故のみです。
自動車共済	自賠償を超える対人賠償を保障する共済です。車両・人身傷害保障と対人・対物無制限保障をセットしたタイプ等があります。自賠償共済とのセット加入により割引制度があります。
傷害共済	旅行やスポーツなどで事故にあった場合の共済です。

上記については主な内容のみです。詳しくは最寄りの支店・出張所窓口にてお尋ね下さい。
 その他ご利用に応じた共済を取り揃えております。お気軽にご相談下さい。

JA共済ではご利用されるお客様の意向に沿った最適な保障を提供していきたいと考えております。そのためJA共済では、「意向確認書（自動車共済はご契約内容確認書）」を用意し、ご加入いただく共済の内容がお客様の意向に沿った内容となっているか確認させていただき契約手続き（意向確認）を行っております。

具体的にはご契約のお申込み時に「意向確認書（自動車共済はご契約内容確認書）」のご記入、ご提出をお願いいたしております。確認手続の際にお時間をいただくこととなりますが、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

営農・経済事業

購買事業

農業生産および生活に必要な資材や物資を供給する事業です。生産資材・生活資材・Aコープマーク品・農業機械・自動車・燃料（ガソリンスタンド・LPガス）・仕出し料理など多くの品物を取り扱っています。また、地産地消・高齢化・健康志向などのニーズに対応するため、介護福祉・ギフト・家庭配置菜・共同購入により、組合員や地域の暮らしを幅広く支援する事業を行っています。

延岡産のブランド作物「空飛ぶ新玉ネギ」を使用した「太陽の野菜ジュース」・「空飛ぶ玉ネギドレッシング」を販売しております。また、延岡産の茶葉を使用した「天下一茶」を販売しております。

購買店舗	給油所	その他
グリーンワンしおはま	松山 給油所	オートバル
グリーンワンひらた	東海 給油所	味の季節館
グリーンワンおおかど	鉄工団地給油所	農機具センター
北方支店	北方 給油所	ギフトセンター
北川支店		
北浦支店		



販売事業

組合員の生産した生命の糧である食料を、消費者のニーズに応えるべく新鮮で、安全・安心・安価なものを安定的に販売しています。そのため、生産組合や青壮年部および行政機関と連携のもと、組織化、集団化、共同利用施設により、共同出荷、計画販売に努めています。特に近年では、延岡産のブランド作物「空飛ぶ新玉ネギ」、「天下一蔵出し米」、「延岡牛」、「oh茶メ豚」の販売に努めています。また地産地消運動の一環として、JAの施設として農林産物直販店「むかばきの郷」、「旬菜市場」を展開し、市内のスーパーやAコープなどに農産物直売コーナーを設置し、地元産の野菜等の販売を行っています。

【主な施設等】

種別	施設名	種別	施設名
農産	(株)JA延岡地域農業振興支援センター	畜産	畜産管理センター(5ヶ所)
農産	和田越選果場	畜産	肉豚共同肥育センター
農産	塩浜農業倉庫	畜産	種鶏中ピナ供給センター
農産	高野倉庫	畜産	種鶏第5団地
農産	北方選果場	農林産物直販店	むかばきの郷(グリーンワンひらた横)
農産	北浦野菜集出荷場	農林産物直販店	旬菜市場(グリーンワンおおかど内)
畜産	(有)延岡農協畜産センター	農林産物直売	市内スーパー・Aコープほか



指導事業

農産・畜産各部門の営農指導および女性部を中心とした生活指導、その他税務相談・教育・広報活動等を行い、組合員の生産技術・生活・経営安定の向上に努めております。

子会社により就農者の研修受入を行い、後継者の育成にも努めています。

また、一般の方々を対象とした「いきいき農業塾」も行ってまいります。(受講期間：1年間)

その他として下記の事業も行ってまいります。

旅行センター：旅のお手伝いを、農協観光(Nツアー)の全国ネットで行ってまいります。

土地建物情報センター：組合員の資産に関する相談活動と宅地等供給事業を行ってまいります。

福祉事業：ホームヘルパーによる訪問介護サービスやミニデイサービスを行ってまいります。

葬祭事業：(株)プリエール延岡(斎場：びゅう・おおたけ・のた)で行ってまいります。

5 経営方針

<基本方針>

「第6次中期3ヵ年経営計画」（地域農業振興基本計画・生活活動基本計画・経営管理基本計画）に基づき、その実現に向けて取り組みます。

1. 安全・安心な農畜産物の生産と農業担い手の育成による農業の振興
2. 地域密着にもとづくJA事業活動の展開
3. 健全経営を目指し、組合員・利用者に信頼されるJAづくり

<金融商品の勧誘方針>

当組合は、金融商品販売法の趣旨に則り、貯金・定期積金、共済その他の金融商品の販売等の勧誘にあたっては、次の事項を遵守し、組合員・利用者の皆さまの立場に立った勧誘に努めるとともに、より一層の信頼をいただけるよう努めてまいります。

1. 組合員・利用者の皆さまの商品利用目的ならびに知識・経験・財産の状況および意向を考慮のうえ、適切な金融商品の勧誘と情報の提供を行います。
2. 組合員・利用者の皆さまに対し、商品内容や当該商品のリスク内容など重要な事項を十分に理解していただくよう努めます。
3. 不確実な事項について断定的な判断を示したり、事実でない情報を提供するなど組合員・利用者の皆さまの誤解を招くような説明は行いません。
4. お約束の場合を除き、組合員・利用者の皆さまにとって不都合と思われる時間帯での訪問・電話による勧誘は行いません。
5. 組合員・利用者の皆さまに対し、適切な勧誘が行えるよう役職員の研修の充実に努めます。

< 個人情報保護方針 >

当組合は、組合員・利用者等の皆様の個人情報を正しく取扱うことが当組合の事業活動の基本であり社会的責務であることを認識し、以下の方針を遵守することを誓約します。

1. 当組合は、個人情報を適正に取扱うために、個人情報の保護に関する法律（以下「法」といいます。）その他、個人情報保護に関する関係諸法令および農林水産大臣をはじめ主務大臣のガイドライン等に定められた義務を誠実に遵守します。個人情報とは、法第2条第1項に規定する、生存する個人に関する情報で、特定の個人を識別できるものをいい、以下も同様とします。
2. 当組合は、利用目的をできる限り特定したうえ、あらかじめご本人の同意を得た場合および法令により例外として扱われるべき場合を除き、その利用目的の範囲内でのみ個人情報を取扱います。ご本人とは、個人情報によって識別される特定の個人をいい、以下同様とします。
3. 当組合は、個人情報を取得する際、適正な手段で取得するものとし、利用目的を、法令により例外として扱われるべき場合を除き、あらかじめ公表するか、取得後速やかにご本人に通知または公表します。ただし、ご本人から書面で直接取得する場合には、あらかじめ明示します。
4. 当組合は、取扱う個人データを利用目的の範囲内で正確・最新の内容に保つよう努め、また安全管理のために必要・適切な措置を工事従業者及び委託先を適正に監督します。個人データとは、法第2条第4項が規定する、個人情報データベース等（法第2条第2項）を構成する個人情報をいい、以下同様とします。
5. 当組合は、法令により例外として扱われるべき場合を除き、あらかじめご本人の同意を得ることなく、個人データを第三者に提供しません。
6. 当組合は、保有個人データにつき、法令に基づきご本人からの開示、訂正等に応じます。保有個人データとは、法第2条第5項に規定するデータをいいます。
7. 当組合は、取扱う個人情報につき、ご本人からの苦情に対し迅速かつ適切に取り組み、そのための内部体制の整備に努めます。
8. 当組合は、取扱う個人情報について、適正な内部監査を実施するなどして、本保護方針の継続的な改善に努めます。

6 業務運営

(1) リスク管理体制について

組合員・地域住民の皆さまに安心して当JAをご利用いただくためには、より健全性の高い経営を確保し、信頼性を高めていくことが重要です。

このため、有効な内部管理態勢を構築し、直面する様々なリスクに適切に対応すべく、認識すべきリスクの種類や管理体制と仕組みなど、リスク管理の基本的な体系を整備しています。また、収益とリスクの適切な管理、適切な資産の自己査定の実施などを通じてリスク管理体制の充実・強化に努めています。

1. 審査体制

個々の貸出金の債務者残高は、職務権限に基づき決裁されていますが、3,000万円を超える案件については、組合長を座長とした貸出審査会を開催（週1回）し、副組合長、常務、総務・金融の各部長及びリスク管理課、融資課、関係する課、支店長及び支店担当を構成員として貸出審査会要領に基づき実行しております。

2. 監査体制

監査体制については、監事6名（常勤監事・員外監事含む）および監査室において、監事監査・内部監査を計画的に実施しております。また、必要に応じて随時監査・無通告監査を実施し、事務処理の適正化および不正事故防止に努めております。

3. ALM管理体制

資金運用の環境が大きく変動するなか、効率的な資金計画の策定や各種リスク情報に基づく運用方針の決定を行うこと（ALM委員会）により、財務健全性維持と安定収益の確保に努めております。

ALM・・・資産（運用）と負債（調達）の総合管理という意味です。

(2) コンプライアンス(法令等遵守)の態勢について

JAは高い公共性を有し、組合員および地域の企業・住民のための協同組織金融機関として、農業の健全な発展、豊かな国民生活の実現、地域社会繁栄への奉仕に資するため、その社会的責任と公共的使命を自覚し地域発展のために尽力しています。

このため、当JAにおいては、これからもこうした社会的責任と公共的使命を全うする金融機関として、地域社会の負託に応え、これまで以上にゆるぎない信頼を確立していくため、以下5項目からなる基本方針を定め取り組んでまいります。

(基本方針5項目)

- 社会的責任と公共的使命の認識
- 組合員等のニーズに対応した質の高い金融等サービスの提供
- 法令やルールの厳格な遵守
- 反社会的勢力の排除
- 透明性の高い組織風土の構築と社会とのコミュニケーションの充実

7 系統セーフティネット(貯金者保護の取り組み)

当ＪＡの貯金は、ＪＡバンク独自の制度である「破綻未然防止システム」と公的制度である「貯金保険制度（農水産業協同組合貯金保険制度）」との二重のセーフティネットで守られています。

「ＪＡバンクシステム」の仕組み

ＪＡバンクは、全国のＪＡ・ＪＡ宮崎信連・農林中央金庫（ＪＡバンク会員）で構成するグループの名称です。組合員・利用者の皆さまに、便利で安心な金融機関としてご利用いただけるよう、ＪＡバンク会員の総力を結集し、実質的にひとつの金融機関として活動する「ＪＡバンクシステム」を運営しています。

「ＪＡバンクシステム」は、「破綻未然防止システム」と「一体的事業推進」を２つの柱としています。

「破綻未然防止システム」の機能

「破綻未然防止システム」はＪＡバンク全体としての信頼性を確保するための仕組みです。ＪＡバンク法（農林中央金庫及び特定農業協同組合等による信用事業再編及び強化に関する法律）に基づきＪＡバンク基本方針を定め、ＪＡの経営上の問題点の早期発見・早期改善のため、国の基準よりもさらに厳しいＪＡバンク独自の自主ルール基準（達成すべき自己資本比率の水準、体制整備等）を設定しています。

また、ＪＡバンク全体で個々のＪＡの経営状況をチェックすることにより、適切な経営改善指導を行います。

「一体的事業推進」の実施

良質で高度な金融サービスを提供するため、ＪＡバンクとして商品開発力・提案力の強化、共同運営システムの利用、全国統一のＪＡバンクブランドの確立等の一体的な事業推進の取り組みをしています。

貯金保険制度

貯金保険制度とは、農水産業協同組合が貯金等の払戻しができなくなった場合等に、貯金者を保護し、また資金決済の確保を図ることによって、信用秩序の維持に資することを目的とする制度で銀行・信金・信組・労金等が加入する「預金保険制度」と同様な制度です。

8 農業振興活動

1. 営農支援活動

- (1) 関係機関との連携により担い手の育成・強化を行っています。
- (2) 耕種畜種農家連携による稲わら回収斡旋の事業を行いました。
 - ・ 稲わら回収面積23.7ha、稲わら斡旋面積2.3ha
- (3) 営農集団・農業生産法人と連携した農作業受託連携システムの確立を目指しています。
- (4) 担い手向けに関連補助事業の継続的な導入に取組みました。
 - ・ 農作業受託機械導入事業（事業費14,575千円）
- (5) 農商工連携による地産地消活動の展開
 - ・ 地元焼酎製造工場との契約による「芋」、「栗」、「米」、「麦」の栽培を行い各種焼酎を製造しました。
 - ・ 県内味噌製造会社との連携による加工用麦の作付けを引き続き行いました。
 - ・ 第2回麦踏み大会の実施により食育食農活動の実践を行いました。
- (6) インショップでの農産物販売による、地産地消の推進を行いました。
- (7) 農地保有合理化事業の推進を行っています。
 - ・ 平成21年度実績 貸手368戸、借手91戸、面積73.0ha
- (8) 担い手・集落営農経営体の育成確保に取組みました。
- (9) 認定農家の育成と家族経営協定の推進を行いました。
 - ・ 認定農家187戸、家族経営協定農家86戸
- (10) 農業労災保険の加入推進を行っています。
 - ・ 平成21年度加入実績49人、事故発生件数5件
- (11) 生産組合と営農振興について連携を図っています。

2. 就農支援活動

- (1) 定年帰農者及びU・Iターン（新規就農者）農業者の営農相談を行っています。
- (2) 作物選定・技術・販路・資金面の相談を行っています。
- (3) 就農希望者等を対象とした営農講座を開催しました。
 - ・ いきいき農業塾受講者 平成21年度 41名
- (4) 農業塾生ネットワーク活動を行いました。
- (5) 女性起業グループの支援を行いました。（加工・朝市）
- (6) 農地保有合理化による農地貸借相談を行っています。
- (7) 子会社による就農者の育成・自立支援を行うための研修制度を行いました。
 - ・ ㈲延岡農協畜産センターによる畜産研修生受入（1名）
 - ・ ㈱JA延岡地域農業振興支援センターによる農産研修生受入（1名）

3. 地域水田営農対策の推進

- (1) 施策に基づく生産調整を推進しました。
- (2) 集荷円滑化対策加入促進と産地づくり交付金の事務委託を行いました。
 - ・ 平成21年度交付実績 290戸、25,305千円
- (3) 転作作物の振興として米粉用・飼料稲の作付拡大を図りました。
 - ・ 米粉用 平成21年度作付け面積 5.5ha
 - ・ 飼料稲 平成21年度作付け面積 70.3ha
 - ・ 飼料用米 平成21年度作付け面積 38.8ha
- (4) 地産地消として「天下一蔵出し米」の普及を会社・学校へ図りました。

4．農業・JAのPR活動の展開

- (1) 第2回麦踏み大会を開催しました。
- (2) 宮崎ブランド認定強化品目のPRを図りました。
- (3) 消費者を対象とした交流会を実施しました。
 - ・ 市民水田コミュニケーション稲作体験
 - ・ 消費者交流会
- (4) 行政と連携したイベントを開催しました。
- (5) 小学校を対象とした食の学習会等を開催しました。

5．関係機関との連携

- (1) 行政機関と農業振興計画の協議を行いました。
- (2) 農林振興局と補助事業導入等の協議を行いました。
- (3) 延岡地域農業振興協議会を開催しました。

9 社会的責任と貢献活動

安全・安心な食料の生産・供給および食料自給率の向上に努めるとともに、一般消費者をはじめ地域の皆様に農業を十分理解していただけるような積極的な活動を展開いたします。また、地域協同組合として地域社会との「共生」を目指し、「信頼される・選ばれる」JA運営に努めてまいります。

【取組み・支援・活動】

JAだよりの発行
日曜日ローン相談会の開催
交通安全用カーブミラー・交通安全資材の寄贈
まつりのべおか等地域イベントへの参加
いきいき農業塾の開催
焼肉フェスティバルの開催
女性部による「ふれあいサロン（高齢者福祉活動）」の開催
女性部によるマイ箸、エコバッグ持参の推進
男性向け「味噌作り講習会」の開催
小学校への「農業教材本」の贈呈
青壮年部による「お米学習教室」の開催
ちゃぐりんフェスタでの料理講習会の開催
JA共済書道コンクールの実施
JA延岡杯 サッカー大会の開催
グラウンドゴルフ・ゲートボール大会の開催
ミニバレー・健康教室・演芸大会の開催



JAだより



焼肉フェスティバル



交通安全資材の寄贈



まつりのべおかへの参加

「みんなのよい食プロジェクト」

みんなのよい食プロジェクトとは、これからの日本人にとって「よい食」とは何かを、日本の農家とJAグループ、そして消費者のみなさんが一緒になって考え、行動していく運動です。

JA延岡では、みんなのよい食プロジェクトを展開し、地産地消運動と合わせた、安全安心な農畜産物の提供をしています。



みんなの よい食プロジェクト